

# 中小企業の直接金融に関するヒアリング結果

平成11年11月15日

国民生活金融公庫総合研究所

<回答企業の属性>

図-1 業種

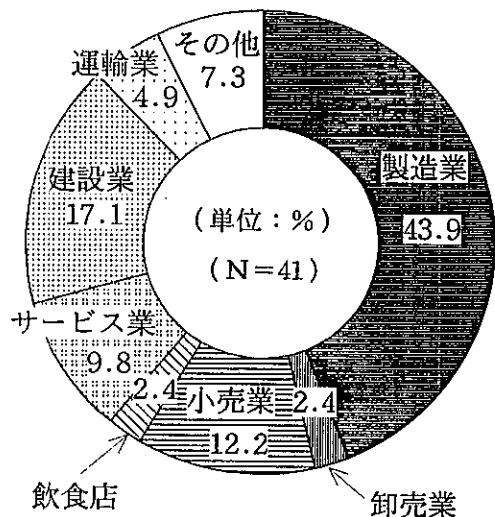


図-2 資本金

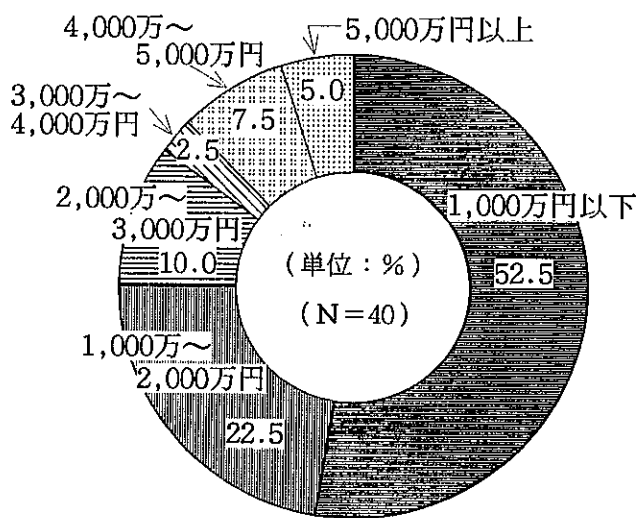


図-3 従業員数  
(アルバイト・パートを含む)

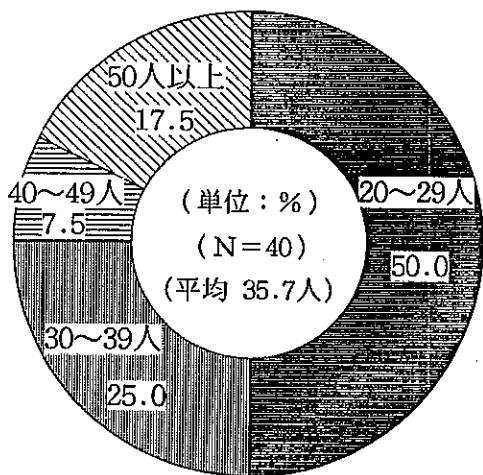


図-4 地域

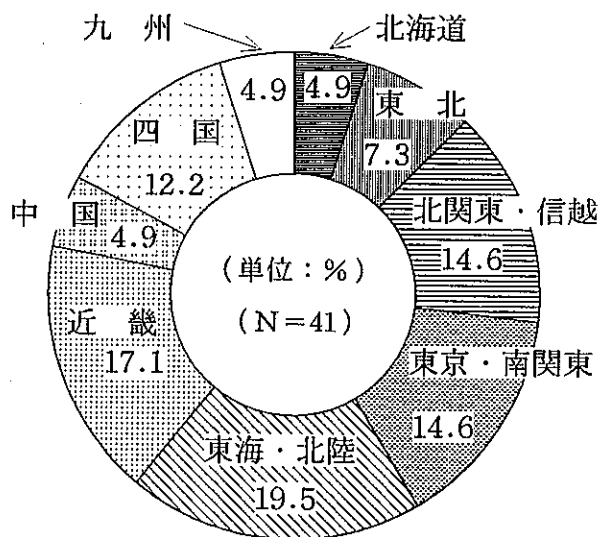


図-5 業歴

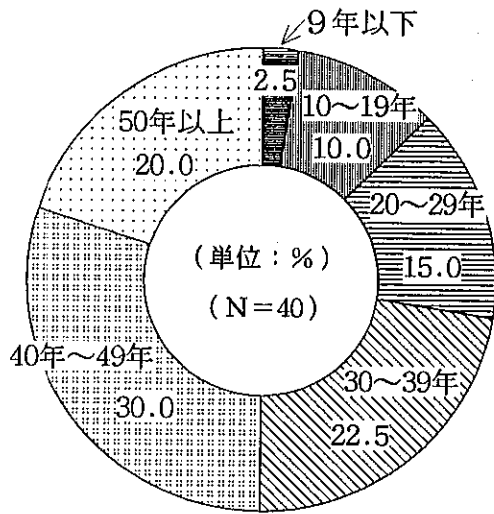


図-6 経営者の年齢

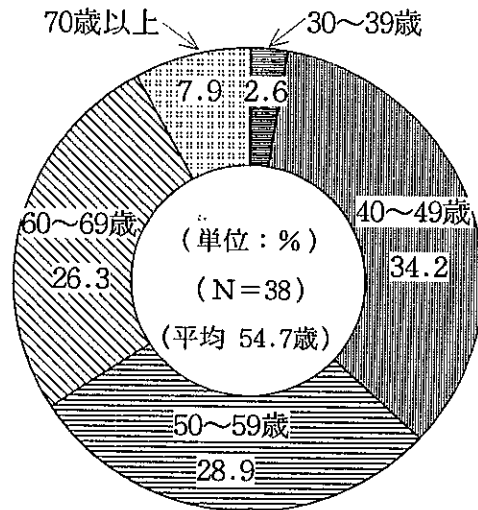


図-7 売上高 (年商)

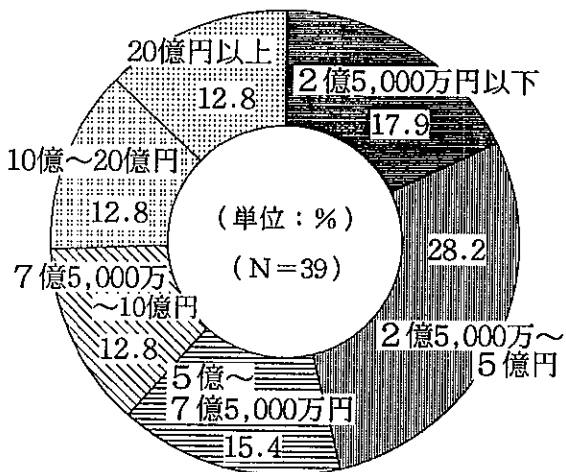


図-8 金融機関からの借入金残高

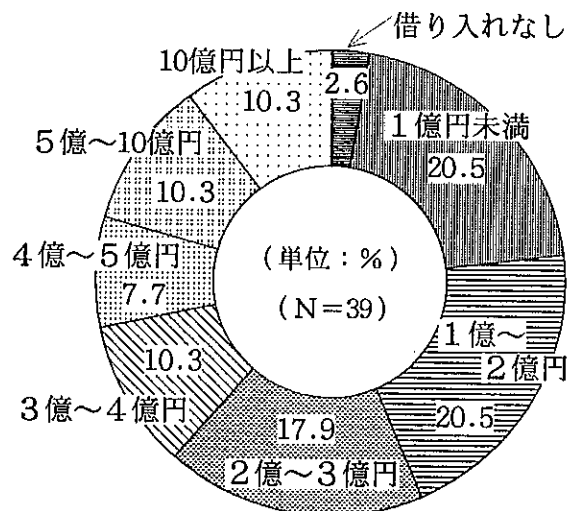


図-9 投資家から直接資金を調達した経験の有無

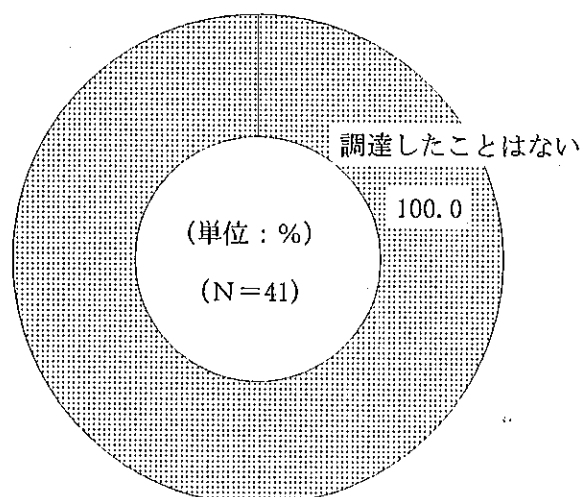


図-10 投資家から直接資金を調達するための手続きを行った経験の有無

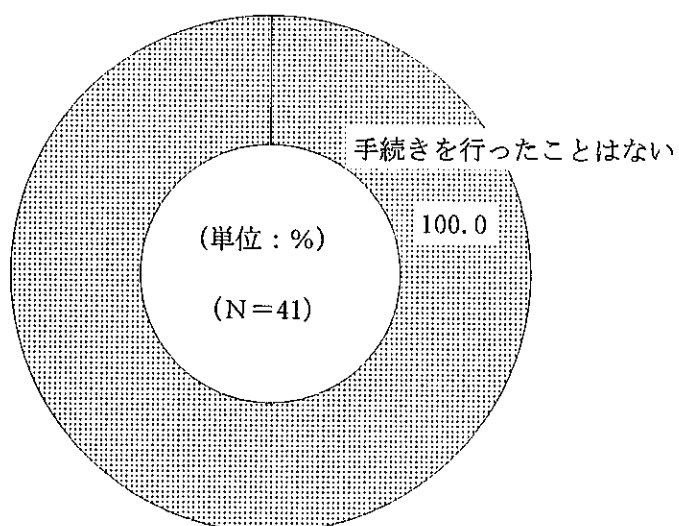


図-11 投資家から直接資金を調達することを検討した経験の有無

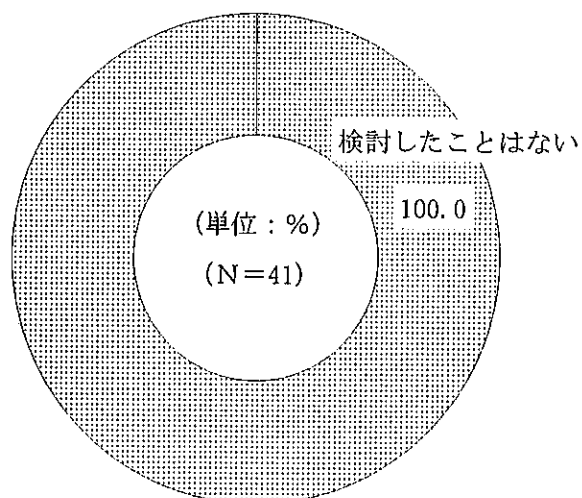


図-12 株式の公開（公募増資）に関する知識

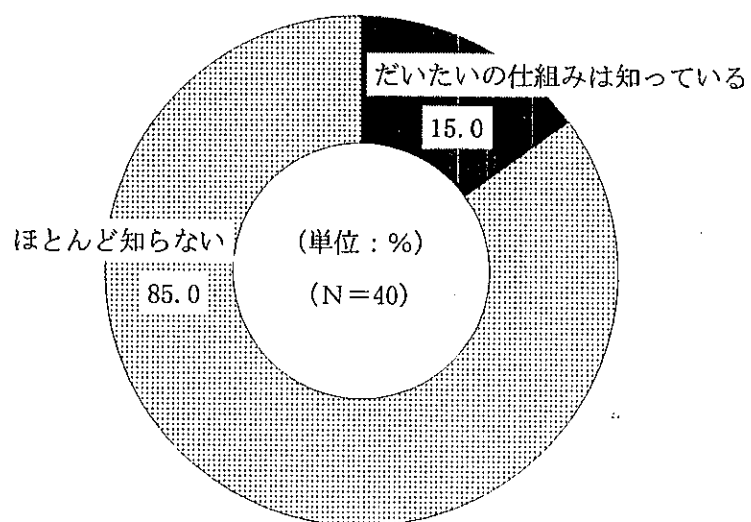


図-13 社債の発行に関する知識

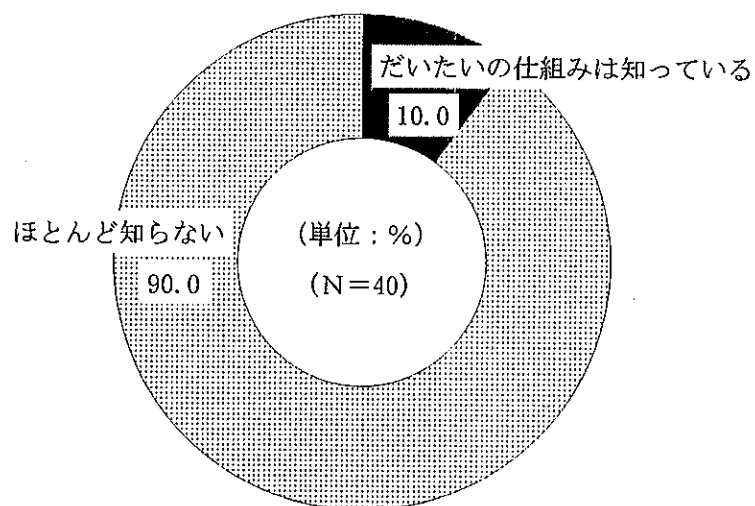
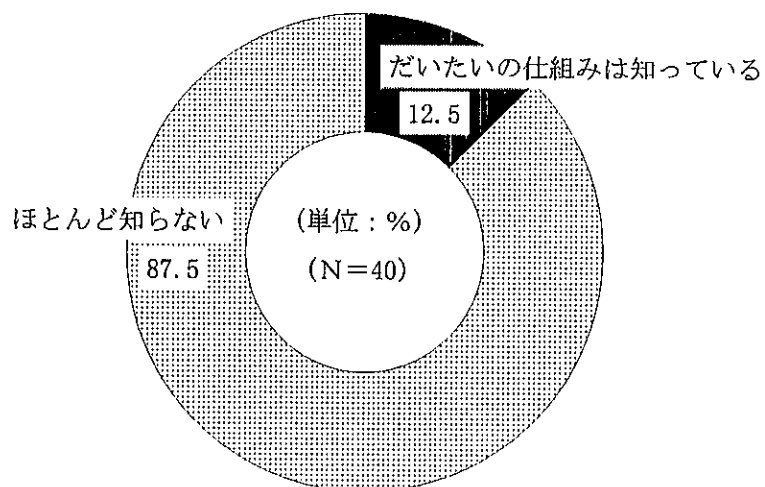
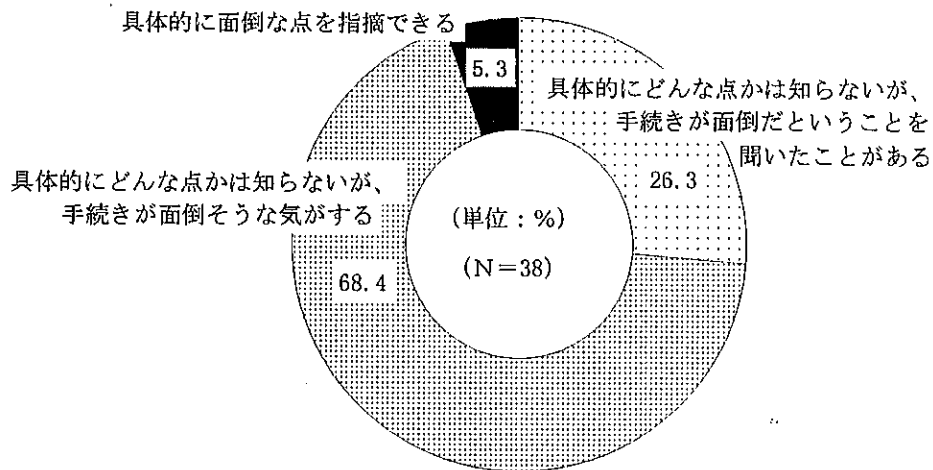


図-14 ベンチャーキャピタルの出資に関する知識

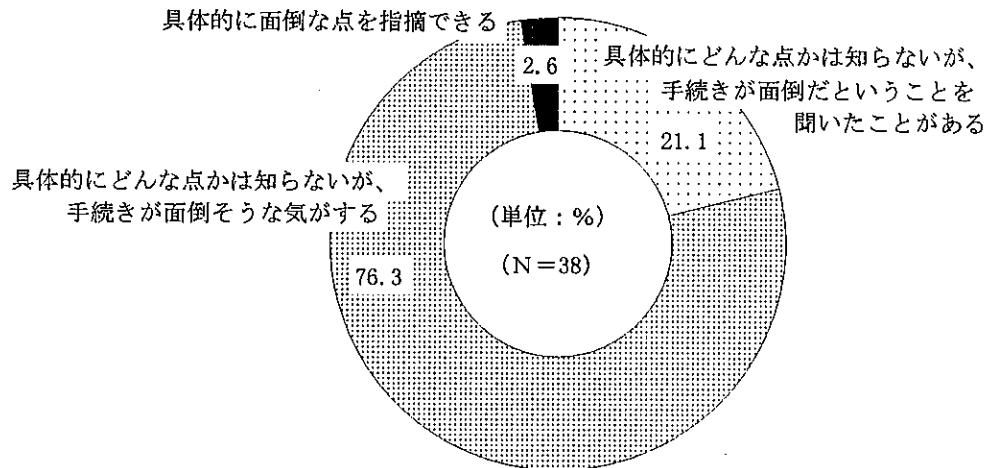


図一15 株式の公開の手続きに関する面倒な点（具体的な指摘の可否）



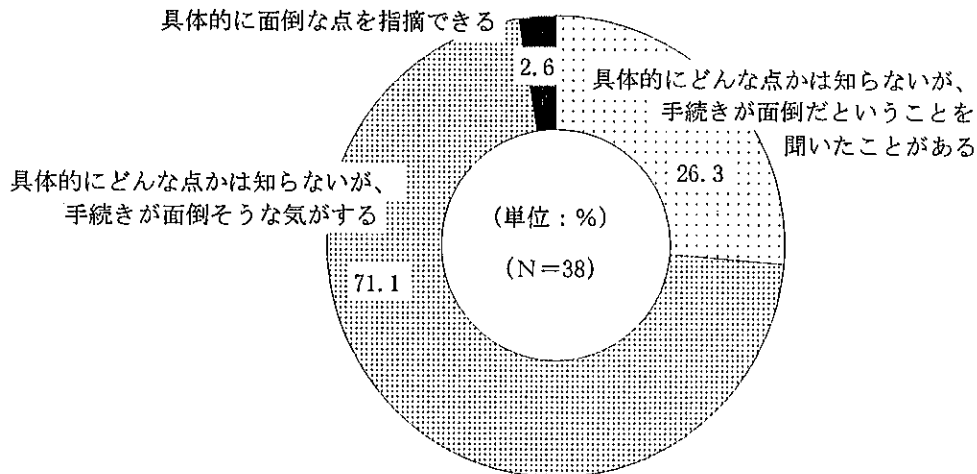
(注) 直接投資家から資金を調達することが面倒だと回答した企業に対する集計である。

図一16 社債の発行の手続きに関する面倒な点（具体的な指摘の可否）



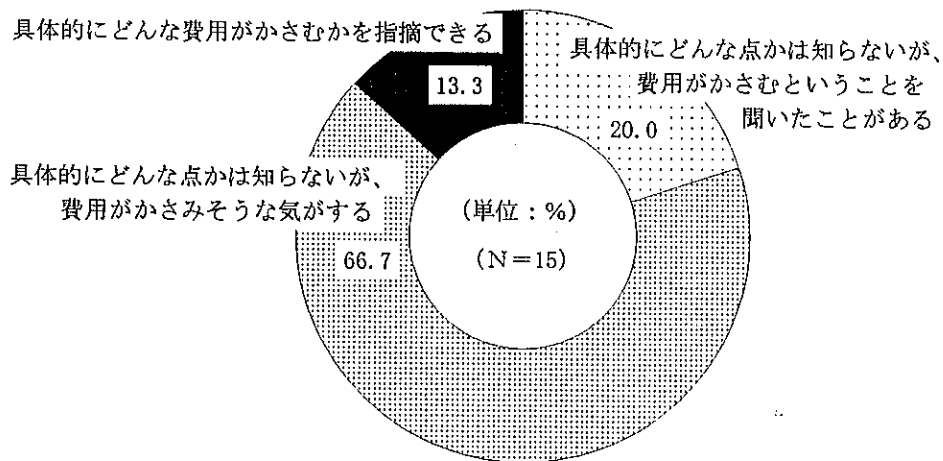
(注) 直接投資家から資金を調達することが面倒だと回答した企業に対する集計である。

図一17 ベンチャーキャピタルの出資の手続きに関する面倒な点（具体的な指摘の可否）



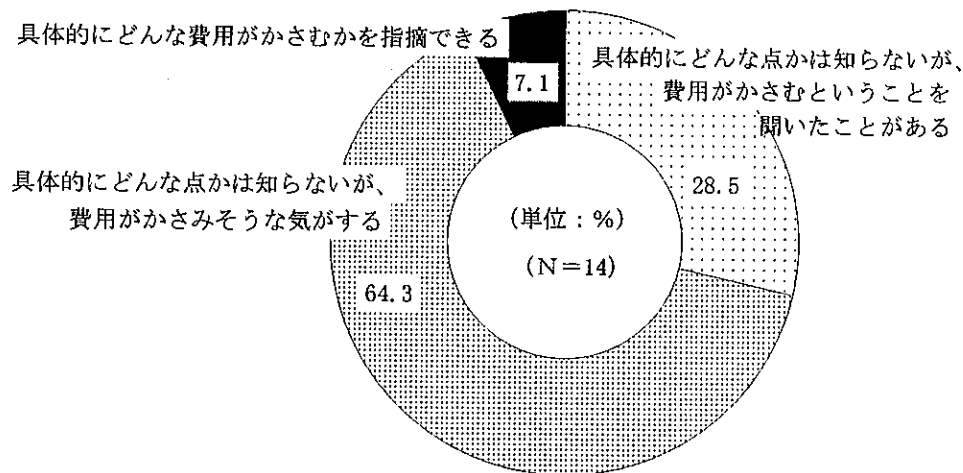
(注) 直接投資家から資金を調達することが面倒だと回答した企業に対する集計である。

図一18 株式の公開において費用がかさむ点（具体的な指摘の可否）



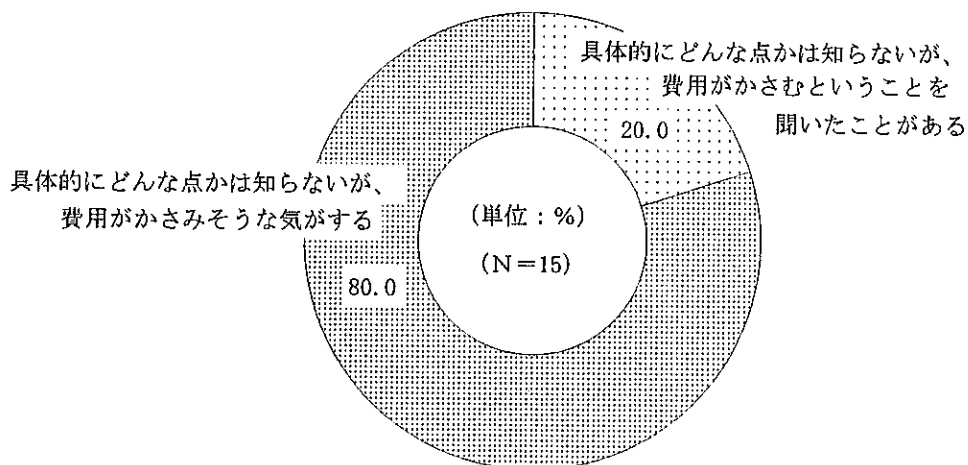
(注) 直接投資家からの資金調達は費用がかさむと回答した企業に対する集計である。

図一19 社債の発行において費用がかさむ点（具体的な指摘の可否）



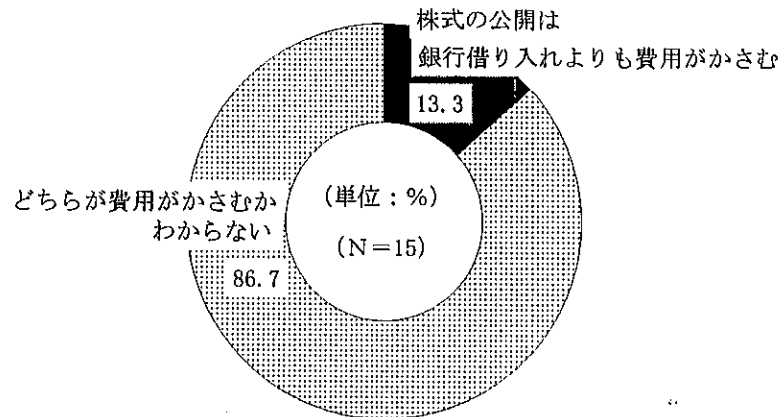
(注) 直接投資家からの資金調達は費用がかさむと回答した企業に対する集計である。

図一20 ベンチャーキャピタルの出資において費用がかさむ点（具体的な指摘の可否）



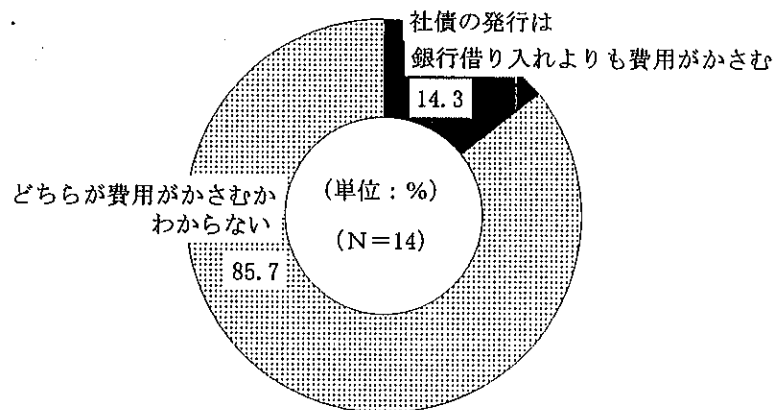
(注) 直接投資家からの資金調達は費用がかさむと回答した企業に対する集計である。

図-21 株式の公開にかかる費用と銀行借入れにかかる費用の比較



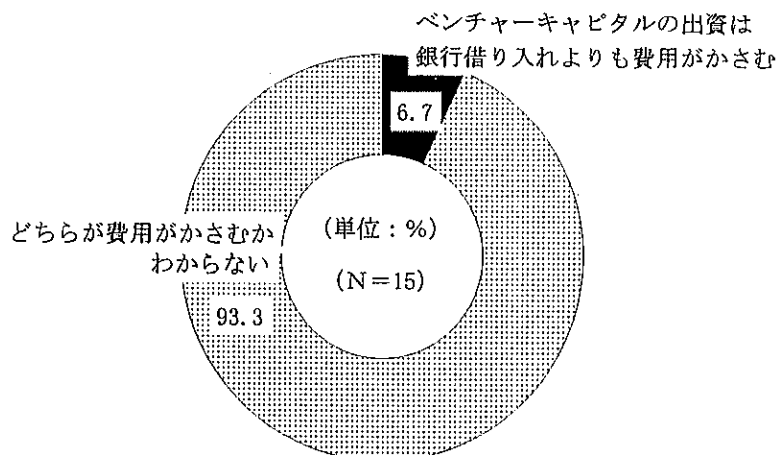
- (注) 1. 直接投資家からの資金調達は費用がかさむと回答した企業に対する集計である。  
 2. 株式の公開にかかる費用は配当だけでなく、付随して必要となる費用も含める。  
 3. 銀行借入れにかかる費用は、実質金利でかつ、登録免許税などの費用も含める。

図-22 社債の発行にかかる費用と銀行借入れにかかる費用の比較



- (注) 1. 直接投資家からの資金調達は費用がかさむと回答した企業に対する集計である。  
 2. 社債の発行にかかる費用は利子だけでなく、付随して必要となる費用も含める。  
 3. 銀行借入れにかかる費用は、実質金利でかつ、登録免許税などの費用も含める。

図-23 ベンチャーキャピタルの出資と銀行借入れにかかる費用の比較



- (注) 1. 直接投資家からの資金調達は費用がかさむと回答した企業に対する集計である。  
 2. ベンチャーキャピタルの出資にかかる費用は、付随して必要となる費用も含める。  
 3. 銀行借入れにかかる費用は、実質金利でかつ、登録免許税などの費用も含める。



## 私募債・優先株に関する電話ヒアリング結果

### 1 私募債に関心がない理由

- a. 運輸業・従業員26人(アルバイト・パートを含む、以下同じ)・年商2億7,000万円・茨城県  
これまで銀行借り入れ以外の資金調達方法を検討したことがなく、急には答えられない
- c. 建設業・埼玉県  
自己資本と銀行借り入れだけで十分
- d. 製造業・従業員28人・年商3億円・埼玉県  
銀行借り入れで足りており、新しい方法で資金を調達するまでもない
- e. 建設業・従業員49人・年商28億7,000万円・東京都  
ディスクロージャーが簡単といっても、銀行借り入れよりは手間がかかりそうな気がする
- f. 従業員55人・年商8億7,000万円・新潟県  
外部から資金を調達する必要性そのものがないから
- g. サービス業・従業員35人・年商2億2,600万円・石川県  
そもそも現状で資金調達に問題がないから
- h. 建設業・従業員21人・年商9億5,000万円・長野県  
そもそも興味がないことなので、何が問題なのかすぐにはわからない
- i. 製造業・従業員35人・年商4億5,000万円・愛知県  
当社のように、自社製品を持たない下請け企業では、外部の人に社債を買ってもらうことは期待できない
- j. 製造業・従業員21人・愛知県  
社債を発行できるほどの企業体力がない
- k. 製造業・従業員20人・年商6億円・徳島県  
銀行借り入れで十分だから
- l. 通信業・従業員23人・年商9億2,200万円・徳島県  
ここ5年以内には設備投資の予定もなく、自己資本と銀行借り入れで間に合う
- m. 建設業・従業員35人・年商18億9,000万円・徳島県  
たとえ少人数でも、そもそも社債で資金を調達するつもりがない。

### 2 優先株に関心がない理由

- a. これまで銀行借り入れ以外の資金調達方法を検討したことがなく、急には答えられない
- b. 製造業・従業員35人・年商3億6,000万円・群馬県  
現状では、配当を出し続けるだけの企業体質をつくることは難しい
- c. 株主を増やすつもりはない。現在4人いる役員の保有株をどうやって後継者に移すかが課題だけ
- d. たとえ議決権がなくても、同族以外に株主をつくるつもりはない
- e. 発行手続きを考えると、銀行借り入れの方が便利だと思う
- f. 銀行借り入れで十分間に合っているから
- g. そもそも現状で資金調達に問題がないから
- h. 株式を新たに発行しなくても何とかやっつけていける
- i. 当社のように、自社製品を持たない下請け企業では、株式の募集など関係ない
- j. 株を発行しなくても、銀行借り入れで何とか回していけるから
- k. 銀行借り入れで十分だから
- l. ここ5年以内には設備投資の予定もなく、自己資本と銀行借り入れで間に合う
- m. たとえ議決権がなくても、そもそも増資して資金を調達するつもりがない。